

平成27年度租税教育実践事例（第6学年社会科）

登米市立錦織小学校

教諭 岩渕 安弘

1 小単元名 「震災復興の願いを実現する政治」

2 小単元の目標

- (1) 地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解するとともに、我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりを考えようとする。
- (2) 地方公共団体や国の政治の働きに関する社会的事象から学習問題を見だし、聞き取り調査をしたり、各種資料を活用したりして調べたことをまとめるとともに、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現する。

3 評価の観点と評価規準

- (1) 社会的事象への関心・意欲・態度
 - ① 地震などの災害復旧・復興の取り組みには、地方公共団体や国の政治の働きが反映していることに関心をもち、進んで調べようとしている。
 - ② 我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりを考えようとしている。
- (2) 社会的な思考・判断・表現
 - ① 地方公共団体や国の政治の働きと国民生活との関連について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。
 - ② 災害などの非常時における国民生活を守るために、地方公共団体や国は日ごろから協力して準備していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを適切に考え、表現している。
- (3) 観察・資料活用の技能
 - ① 災害復旧・復興の取り組みについて、関係者への聞き取り調査をしたり、収集した資料を活用したりして、地方公共団体と国の政治の働きについて必要な情報を集め、読み取っている。
 - ② 調べたことを関係図や年表、作品やノートにまとめている。
- (4) 社会的事象についての知識・理解
 - ① 市や県、国による災害復旧・復興の取り組みは、地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを理解している。
 - ② 政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。

4 指導にあたって

(1) 単元について

本小単元は、学習指導要領の内容(2)「我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。」ア「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を受けて設定した。

本小単元は、東日本大震災という児童が実際に体験した災害をもとに地方公共団体や国の取り組みについて調べまとめることで、政治を身近に感じながらねらいに迫っていける単元である。また、震災復興の取り組みの中で必要な税金の役割についても学習し、次小単元の日本国憲法の国民の義務の学習に発展していく内容となっている。

(2) 児童の実態 (男5名, 女6名, 計11名)

「税金にはどんな税金があるか」というアンケートでは、分からないが4名, 消費税5名, 所得税2名, たばこ税1名, 関税1名, 印税1名であった。

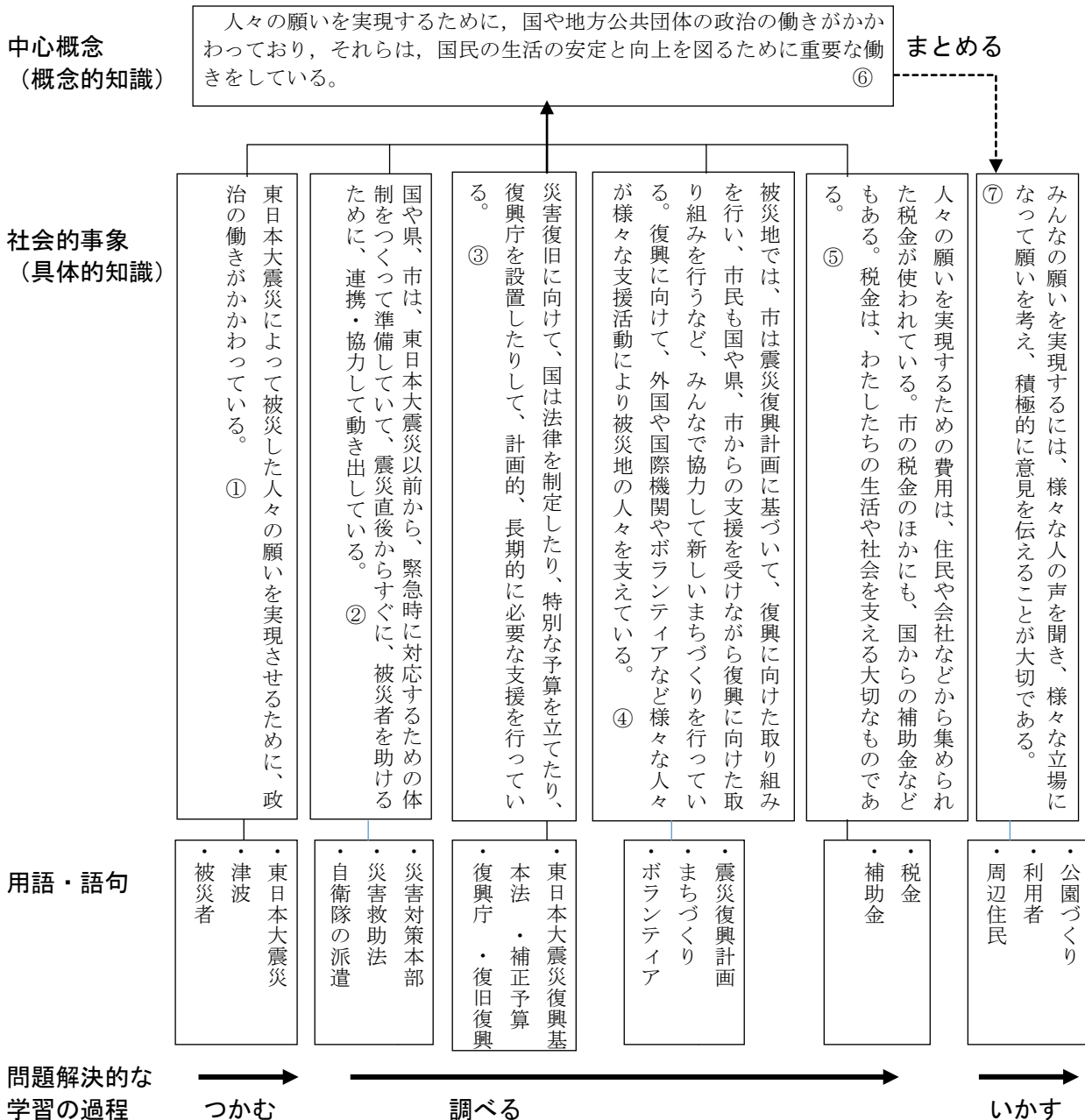
「税金はどんなことに使われているか」というアンケートでは、教科書7名, 学校建設1名, 学校・図書館などの公共施設1名, 道路の修理1名, 救急車1名, 病院1名, 選挙費用1名, 老人ホーム1名, 復興1名, 刑務所1名であった。

児童は, 身近な税金以外の税金はあまり知らず, 税金が教科書等, みんなが使うところに使われていることはだいたい知っているようである。

(3) 指導の着眼

- ① 既習事項の「租・庸・調」や年貢, 地租改正などの内容を想起させ, 税が昔から存在したことや政治に必要なことを理解させる。
- ② 震災の復興の予算はどこから出るか考えさせ, 税金の働きを理解する手掛かりとする。
- ③ ゲストティーチャーを招き, 税の必要性について具体的に理解できるようにする。

(4) 知識の構造図



5 学習計画（ 7時間扱い 本時5/7 ）

時間	ねらい	学習活動	評価規準【B】(評価方法)
1	○震災直後と1年後の写真などをもとに、願いを実現する政治の働きに関心をもつ。	① 震災直後としばらく後のまちや漁港の様子を比べて、気づいたことを話し合う。 ② 被災した人々の願いを実現するためにはどうしたらいいのか話し合い、学習問題をつくる。	【関】被害の大きさやまちの人々の願いについて関心を持ち、願いを実現する政治の働きを意欲的に調べようとしている。
震災後、だれがどのように活動し、復興させてきているのだろうか。			
1	○震災が発生したとき、市や県、国は、どのような取り組みをしたのかを読み取る。	① 地震直後の市の取り組みについて調べる。 ② 地震直後の県の取り組みについて調べる。 ③ 地震直後の国の取り組みについて調べる。	【技】市や県、国の災害対応の取り組みについて必要な情報を集め、読み取っている。
1	○災害復旧に向けて、国は、どのような取り組みを行ったのかを調べて理解する。	① 災害復旧に向けた国の取り組みを調べる。 ② 災害からの復興に向けた国の取り組みを調べる。	【知】災害復旧の取り組みは、国の政治の働きによるものであることを理解している。
1	○災害復興に向けて、地方公共団体や国、外国や国際機関やボランティアなど様々な人々の働きを調べ、理解する。	① 災害復興に向けた市や市民の取り組みについて調べる。 ② 復興に向けたさまざまな取り組みについて調べる。	【知】災害復興への取り組みは、地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを理解している。 【技】災害復興に向けたさまざまな支援について、必要な情報を集めて読み取っている。
1 (本時)	○人々の願いを実現するための費用は税金が使われ、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。	① ゲストティーチャーの話から税金の必要性について考える。 ② DVDを見て、税金の必要性について知り、自分の考えを明確にもつ。	【知】人々の願いを実現するための費用は、住民や会社などから集められた税金が使われ、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。
1	○調べてきたことを項目ごとに整理し、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを表現する。	① 調べてきたことを項目ごとに整理して、新聞記事を書く。 ② 学習を通して考えたことを「ことば」を活用しながら社説にまとめる。	【思】これまで調べたことを関連づけたり、総合したりして、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、表現している。
1	○みんなの願いを実現するには、様々な人の声を聞き、様々な立場になって願いを考え、積極的に意見を伝えることが大切であることを理解する。	① どのような公園がよいのか、自分の願いを出し合う。 ② いろいろな人の話を聞いて、ほかにどのような立場があるか、考える。 ③ 多様な意見をまとめていく方法について話し合う。	【知】みんなの願いを実現するには、様々な人の声を聞き、様々な立場になって願いを考え、積極的に意見を伝えることが大切であることを理解している。

6 本時の学習

(1) 小単元名 「震災復興の願いを実現する政治」～税金の働き～

(2) ねらい

人々の願いを実現するための費用は税金が使われ、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。

(3) 学習過程と学習の様子

段階	学習活動	学習の様子
つかむ	<p>1 既習事項を想起し、本時の学習課題を確認する。</p> <p>(1) 震災復興の予算は、どこから出るか予想し、税金の働きを理解する手がかりとする。</p> <p>(2) 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">税金の使い道を知り、必要性を考えよう。</div>	 <p>【ゲストティーチャーの話聞く】</p>
調べる	<p>2 ゲストティーチャーの話から税金の必要性について考える。</p> <p>(1) 知っている税金の名前を発表する。</p> <p>(2) 税金の合計金額を知る。</p> <p>(3) 税金の使い道を知る。</p> <p>税金が使われているものとそれ以外のものを、カードを使って分ける。</p> <p>(4) 学校と税金の関係を知る。</p> <p>(5) 自分だったら税金を支払いたいか考える。</p> <p>3 DVDを視聴し、税金の必要性について考える。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>【「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴する】</p>	 <p>【税金が使われているものとそれ以外のものを、カードを使って張り分ける】</p>  <p>【教科書裏表紙を見て、税金が使われていることを知る】</p>
まとめる	<p>4 税金の必要性について考える。</p> <p>(1) 税金を支払いたいか自分の考えをもつ。</p> <p>(2) 国民の三大義務を知る。</p> <p>(3) 1億円の重さを知る。</p> <p>5 感想を発表し合う。</p> <p>(1) 感想を書く。</p> <p>(2) 感想を発表し合う。</p> <p>6 本時のまとめと次時の確認をする。</p>	 <p>【1億円のレプリカで、1億円の重さを知る】</p>

(4) 評価の観点と方法

【知】人々の願いを実現するための費用は、住民や会社などから集められた税金が使われ、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。(カード・発言)

7 児童の感想

税金がなくなると、火事の時や救急車を呼ぶときにすぐお金がかかることが分かりました。そのほかにも公園などがつぶされてごみもいっぱい落ちてくるきたない国になってしまうことが分かりました。

今日話を聞いて、学校で使っているもの、税金で作っているものを、これからも大切にしていきたいと思いました。

税金は、お金がほしいからあると思っていましたが、みんなが困っているときに使うものということが分かりました。

1億円は重いけど、20kgよりは軽かったです。

ビデオを見て、税金は病院などにしか使われていないと思っていたけれど、公園や橋などたくさん場所で使われていることが分かりました。

だから、これからは税金をやがらずしっかりはらいたいです。

ビデオを見る前は、税金はそんなに必要ないと思ったけど、ビデオの税金のない世界になったらという話を見て大変だなと思ったので、税金は必要だということが分かりました。

税金がなくなると、消防や道路にお金がかかるのを知ってびっくりしました。だから、消費税などは大切なんだなと思いました。

また、1億円は意外に重くてびっくりしました。

今まで、税金にはあまり興味がなかったけど、今日の授業で自分が使っている教科書などは税金があるから使えると知ったので、大切に使う必要があると思いました。

そして、自分も税をしっかり払わなければみんな困ってしまうので、税金はとても大事だと感じました。

8 税に関する「絵はがきコンクール」への応募作品



9 まとめ

- (1) 震災の復興の予算はどこから出るか考えさせ、税金が使われているという予想をもたせたことは、既習事項を本時のねらいにつなげる上で有効であった。
- (2) 税金が使われているものとそれ以外のものを、カードを使って分けたことは、税金の使い道を明確にする上で有効であった。
- (3) 税金の必要性を考えさせる DVD（税金がなくなった世界を映像化したアニメ）の視聴は、税金の必要性を考えさせる上でとても効果的だった。
- (4) ゲストティーチャーの登米法人会の方のお話や DVD、具体物（1億円のレプリカ）を活用した学習は分かりやすく、子どもたちは関心もちながら税金の必要性を理解することができた。
- (5) 税金の必要性を理解させた上での「大人になったら税金を支払いたいか」の発問は、社会参画意識を育てる上で有効であった。